

粗悪学術誌 ダメ！絶対！

その雑誌
信頼でき
ますか？

粗悪学術誌(Predatory journal)とは、
査読誌であることをうたいながら、著者から論文投稿料(APC)を得ること
のみを目的として、適切な査読を行わない、オープンアクセス形式の粗悪な
ジャーナルです。非常に悪質で、手口も巧妙です。一般に「ハゲタカジャーナル」
と呼ばれています。

ご自身や、指導する学生・若手研究者の大事な研究キャリアを守るため、
粗悪学術誌には絶対に投稿しない、関わらないようにしましょう。

粗悪学術誌に投稿すると...



信頼・評価の低下

掲載誌への不信から
著者自身の信用が損
なわれ、所属機関の
評価も下がります。



投稿料トラブル

論文掲載後も、さま
ざまな名目で料金を
請求されることが
あります。



再投稿ができ なくなる恐れ

投稿撤回が認められ
ず、書いた論文が
流れてしまうことも。

粗悪学術誌の特徴

査読期間が短い

粗悪学術誌の多くが極
端に短い査読期間と
なっています。
査読の迅速さを売りに、
業績を急ぐ研究者の
関心を引こうとします。

編集責任者が不明確

エディターが明確でない、
専門分野の研究者でな
い、有名な研究者のプロ
フィールを勝手に掲載し
ている、などのケースが
あります。

IFを謳っているが

目立つところにインパク
トファクター(IF)が
記載されているけれど、
クラリベイト社が公表し
ている正式なIFではな
いことが多々あります。

そのほかにも

ジャーナルの名称や
ロゴが有名ジャーナル
に酷似している、サイト
の作りが稚拙で不自然
な点が散見される、など
のケースもあります。

粗悪学術誌かどうかを見分けるポイント

チェックリスト・ホワイトリストを確認する

Think Check Submit ! THINK ✓ CHECK ➔ SUBMIT

信用できるジャーナルを選ぶためのチェックリスト。約30のチェック項目が提示されている
<https://thinkchecksubmit.org> 日本語版 <https://thinkchecksubmit.org/japanese/>



Directory of Open Access Journals (DOAJ)

厳格な審査を通過したOAジャーナルを収録 <https://doaj.org>



Web of Science

収録基準を有する文献DB
<https://www.webofscience.com/wos/woscc/basic-search>



ジャーナルの公式サイトを見る

自身で公式サイトを検索し、エディターのプロフィールを確認してみましょう。
過去の掲載論文を読んでみて、質が担保されているか確認するのも有効です。

先輩や同僚に評判を聞く

先輩・同僚や近い分野の研究者に、そのジャーナルの評判を聞いてみましょう。
また、ジャーナルの質について懸念する声がないか、SNSなどもチェックしてみましょう。

残念ながら、
粗悪学術誌を見分ける
絶対的な基準は
存在しません。

ご自身で情報を集めて
慎重かつ総合的に判断
することが重要です。

